



安藤春一 議員

Haruichi Ando



Q. 積極・果敢な行財政の展開を A. 優先順位を考慮し進める



▲事故が多い名古屋空港交差点

勢いと充実の30年度予算。運転免許証自主返納助成は、多くの人から評価を受けている。町民ニーズを満たすため、更なる積極かつ大胆な施策を望む。

Q 教育施設は着々と整備されてきた。増築を重ねた豊山小学校と園児の増えた富士保育園は、計画の前倒しをしてはどうか。

A 教育委員会事務局長
小・中学校については、29年度に現況調査を実施した。その結果をもとに、優先順位を考慮し計画を進める。
生活福祉部長
保育園に関する個別計画は現時点で策定していないので、今後順次策定していく。

Q 以前は職員定数170人と記憶している。人減らしのみの行政改革なら、本末転倒だ。町民は気持ちのいいサービスを望んでいる。定数の改正はあるか。

A 総務部長
現在の職員数は138人。今後は財政状況や現状組織の課題や問題などを踏まえ、取り組んでいく。

Q 安全帯の破損事故が続発している。社会教育センターや伊勢山交差点のカラー舗装としては。

A 産業建設部長
国・県は個々の事故状況を集計して、死傷事故率の高い交差点を優先している。県は社会教育センター交差点には、右折誘導線等の路面標示を予定している。

Q. 高添・松張地区の 利活用計画は A. 次期都市計画で 進めていく

Q 高添・松張地区の利活用計画はあるか。隣接地(北名古屋)に航空関連の事業所が進出、という刺激的な話を耳にした。発展は道路からというが、この地区の道路事情は20年ほど進展していないがどうか。

A 産業建設部長
土地利用計画は、次期都市計画マスタープランで地域住民の方々の意見を伺い、進めていきたい。また、道路整備は適宜、補修等維持管理を実施している。